

検討の観点と内容の特色

この資料は、平成30年度小学校教科書の内容解説資料として、一般社団法人教科書協会「教科書発行者行動規範」に則っております。



教育基本法(2条)との関連

検討の観点	内容の特色	具体例
幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。(1号)	●真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培い、健やかな身体を養う心がつくように、巻頭の導入教材を工夫しました。	●「道徳の時間が始まるよ！」(2年～6年 p.6～9)
	●各学年での学習や生活と関連づけて、幅広い知識と教養を身に付け、豊かな情操と道徳心を培うことができるように、付録を工夫しました。	●「付録 つながる 広がる」(1年 p.113～118/2年 p.133～138/3年 p.155～160/4年 p.159～164/5年 p.171～176/6年 p.187～192)
個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。(2号)	●職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うため「勤労、公共の精神」を扱った教材を配置しました。	●「あこがれのパティシエ」(6年 p.13～17) ●「しょうらいの夢を語ろう」(6年 p.18～19)
	●個人の価値や能力を伸ばして創造性を培い、自主及び自律の精神を養うため、人との関わりの中で考えることができる学習活動を取り入れた「出会う・ふれ合う」を配置しました。	●「出会う・ふれ合う」(1～6年) 「じぶんへの しょうじょう」(2年 p.80～81) 「さいこうにうれしい『おはよう!』」(3年 p.16～17) 「やりとげた仕事」(5年 p.58～59)
	●個人の価値を尊重して、その能力を伸ばすとともに、自主及び自律の精神を養えるように「学習のふり返し」と「(これからも)かがやく自分に (!)」を配置しました。	●「学習のふり返し」(1年 p.109～111/2年 p.129～131/3年 p.151～153/4年 p.155～157/5年 p.167～169/6年 p.183～185) ●「(これからも)かがやく自分に (!)」(1年 p.112/2年 p.132/3年 p.154/4年 p.158/5年 p.170/6年 p.186)
	●個人の価値を尊重することに気づくことができるように、「いじめ問題」に対応した2つの教材を関連づけて配置しました。	●「いじめのない世界へ」(1～6年) 1年生の例 とびら「みんなは ともだち」(p.42) 教材①「ダメ」(p.43～45) 教材②「こころはっば」(p.46～48)
正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。(3号)	●公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画する態度を養えるように、巻頭の導入教材を工夫しました。	●「ちょっとみんなで話し合ってみよう」(2年生～6年生 p.7～8)
	●正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずることに気づくことができるように、「いじめ問題」に対応した2つの教材を関連づけた「いじめのない世界へ」を配置しました。	●「いじめのない世界へ」(1～6年) 4年生の例 とびら「学校を幸せな場所にするのは、だれだろう?」(p.41) 教材①「わたしの見つけた小さな幸せ」(p.42～45) 教材②「いっしょになって、わらっちゃだめだ」(p.46～49)
	●各学年の学習や生活と関連づけて、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画することができるように付録を工夫しました。	●「付録 つながる 広がる」(1年 p.113～118/2年 p.133～138/3年 p.155～160/4年 p.159～164/5年 p.171～176/6年 p.187～192)

生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。(4号)	●生命を尊ぶ態度を養うとともに、生命を大切に、健康に気をつけて生活することができるように、「生命の尊さ」を扱った教材を取り上げました。	●「ハムスターの あかちゃん」(1年 p.19~21) ●「ヌチヌグスージ (いのちのまつり)」(3年 p.18~21) ●「クマのあたりまえ」(5年 p.138~141)
	●自然を大切に、環境を保全することの大切さに気づくことができるように「自然愛護」を扱った教材を取り上げました。	●「ぼくの あさがお」(1年 p.28~29) ●「ホタルの引っこし」(3年 p.62~65) ●「一ふみ十年」(5年 p.45~48)
伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。(5号)	●伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養う教材として「伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度」を扱った教材を取り上げました。	●「ふるさといいとこさがし」(3年 p.136~139) ●「白神山地」(6年 p.29~33)
	●伝統と文化を大切に、他国を尊重する態度を養うため「国際理解、国際親善」を扱った教材を取り上げました。	●「世界の小学生」(4年 p.126~129) ●「エンザロ村のかまど」(6年 p.70~74)
	●各学年の学習や生活と関連づけて、伝統と文化を尊重することに気づくことができるように、付録を工夫しました。	●「付録 つながる 広がる」(1年 p.113~118/2年 p.133~138/3年 p.155~160/4年 p.159~164/5年 p.171~176/6年 p.187~192)

学習指導要領との関連

道徳教育の目標と留意点 (学習指導要領総則より)



道徳教育は、教育基本法及び学校教育法に定められた教育の根本精神に基づき、自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことを目標とする。

道徳教育を進めるに当たっては、人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を家庭、学校、その他社会における具体的な生活の中に生かし、豊かな心もち、伝統と文化を尊重し、それらを育ててきた我が国と郷土を愛し、個性豊かな文化の創造を図るとともに、平和で民主的な国家及び社会の形成者として、公共の精神を尊び、社会及び国家の発展に努め、他国を尊重し、国際社会の平和と発展や環境の保全に貢献し未来を拓く主体性のある日本人の育成に資することとなるよう特に留意しなければならない。




検討の観点	内容の特色	具体例
学習指導要領に示す目標との関連		
(1) 人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を培う	●「生命の尊さ」や「美しいものに感動する心」を扱った教材を複数取り上げ、命を尊ぶ態度を養うとともに、よりよい生き方について考えられるように工夫しました。	●生命の尊さ 「命の重さはみな同じ」(6年 p.65~69) ●美しいものに感動する心 「七つのほし」(2年 p.88~91) 「花さき山」(4年 p.92~95)
	●「出会う・ふれ合う」を設け、他人との人間関係を築く中で、個人の価値を尊重したり個人のよさを伸ばしたりする活動ができるようにしました。	<div style="border: 2px dashed #00AEEF; padding: 5px;"> <p>📌 「出会う・ふれ合う」(1~6年)</p> <p>1年 「がんばりシール」(p.26~27) / 「1年〇くみの いいとこ さがし」(p.104~105)</p> <p>2年 「じぶんへの しょうじょう」(p.80~81) / 「ありがとうカード」(p.102~103)</p> <p>3年 『がんばっているでしょう』をあげよう」(p.84~85) / 「さいこうにうれしい『おはよう!』」(p.16~17)</p> <p>4年 「もっとこうすれば、きちんとできる」(p.121~122) / 「あなたのやさしさにありがとう」(p.86~87)</p> <p>5年 「5年〇組 心のサーブ」(p.108~109) / 「やりとげた仕事」(p.58~59)</p> <p>6年 「しょうらいの夢を語ろう」(p.18~19) / 「言葉のプレゼント」(p.96~97)</p> </div>

<p>(2) 豊かな心をはぐくむ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●「つながる・広がる」では、「生かす道徳」につなげるため、道徳で学習したことを日常生活の中で実践し、豊かな心をはぐくむことができるように工夫しました。 	<div style="border: 2px dashed orange; padding: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ●「つながる・広がる」(3～6年) 3年「自分たちの町でできるボランティア」(p.51)／「見つけよう、自分の町のいいところ」(p.140)「通学ろで、どなしぜんに出会えるかな？」(p.66) 4年「日本に古くからつたわるよいものをさがそう」(p.40)「守ろう、自然やそこに住む生き物たちを」(p.62)／「みんながくらしやすい町づくり」(p.148) 5年「自然を守る取り組み」(p.49)／「ボランティア活動について知ろう」(p.100)「ふるさとに伝わる行事」(p.133) 6年「みんな地球を守ろう」(p.39)／「働くことの大切さ」(p.174)「世界のために働く人たち」(p.121) </div>
<p>(3) 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛し、個性豊かな文化の創造を図る人間を育成する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●「伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度」を扱った教材を取り上げ、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土に対する理解が深まるように工夫しました。 ●中学年・高学年では、「付録 つながる 広がる」において、伝統文化や郷土の発展に尽くした人々などを取り上げ、我が国と郷土に対する理解が深まるように工夫しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「にちようびのさんぼみち」(1年 p.66～68) ●「ふるさとを守った大イチョウ」(4年 p.88～91) ●「白神山地」(6年 p.29～33) ●「付録 つながる 広がる」(3年 p.155～160／4年 p.159～164／5年 p.171～176／6年 p.187～192)
<p>(4) 公共の精神を尊び、民主的な社会および国家の発展に努める人間を育成する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●2～6年生の巻頭の導入教材で「ちょっとみんなで話し合ってみよう」を設け、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画する態度を養えるように工夫しました。 ●各学年で、集団生活の中で生じる問題を取り上げた教材を設け、社会のよりよい在り方を目指して考えることができるように工夫しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「ちょっとみんなで話し合ってみよう」(2年～6年 p.7～8) ●「みんな いっしょ」(1年 p.22～23) ●「なかよしだから」(3年 p.71～73) ●「タマゾン川」(6年 p.136～141)
<p>(5) 他国を尊重し、国際社会の平和と発展や環境の保全に貢献する人間を育成する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●伝統と文化を大切に、他国を尊重する態度を養うため「国際理解、国際親善」を扱った教材を各学年で取り上げ、多様性や平和についての考えが深められるように工夫しました。 ●自然を大切に、環境を保全することの大切さに気づくことができるように「自然愛護」を扱った教材を取り上げました。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「ぼくと シャオミン」(1年 p.40～41) ●「三つの国」(3年 p.55～57) ●「『折り紙大使』」(5年 p.79～83) ●「げんきにそだて、ミニトマト」(2年 p.31～33) ●「『ふれあいの森』で」(4年 p.58～61) ●「イルカの海を守ろう」(5年 p.156～159)
<p>(6) 未来を拓く主体性のあふる日本人を育成する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●目次では、道徳の時間に何を、どのように学習するのかを分かりやすい言葉で示し、主体的な学習態度をはぐくむように工夫しました。 ●道徳的価値に根差した問題解決的な学習を取り入れ、児童が主体的に考え、判断し、意欲的に行動できるように工夫しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ●1年(もくじ, p.118) ●2～6年(目次～p.3) ●「大すきなフルーツポンチ」(2年 p.19～21) ●「お母さんのせいきゅう書」(4年 p.104～106) ●「駅前広場はだれのもの」(5年 p.26～29)

	<ul style="list-style-type: none"> ●人間関係力を養う「出会う・ふれ合う」や、体験活動との関連を図った教材で、人生や生活に生きて働く道徳性を育成するように工夫しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ●🌟「出会う・ふれ合う」(1～6年) 「がんばりシール」(1年 p.26～27) 「5年〇組 心のサーブ」(5年 p.108～109) ●体験活動との関連を図った教材 「がっこうにはね」(1年 p.12～13) 「せんぱいの心を受けついで」(6年 p.110～114)
その他学習指導要領との関連		
<p>児童が自らを振り返って成長を実感できるよう工夫されているか。また、評価への対応が工夫されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●学習活動ページでの発言や考えたことをまとめる「学習のふり返し」や、「(これから)かがやく自分に(!)」を設け、児童が自ら成長を実感するとともに、記述内容から成長を見取ることができるように工夫し、評価に活用できるようにしました。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「学習のふり返し」「(これから)かがやく自分に(!)」(1年 p.110～112/2年 p.129～132/3年 p.151～154/4年 p.155～158/5年 p.167～170/6年 p.183～186)
<p>自分の考えを基に話し合ったり書いたりするなどの言語活動を充実するよう工夫されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●「出会う・ふれ合う」では、他人とのコミュニケーションを通して、道徳的価値について考えることができるように工夫しました。 ●「考える道徳」を実践するために学習の進め方を示すとともに、「話し合いの約束」を設け、言語活動が適切に行えるように工夫しました。 ●「問題を見つけて考える」では、「考えるステップ」として、言語活動を行ううえでのでびぎを示しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ●🌟「出会う・ふれ合う」(1～6年) 「ありがとうカード」(2年 p.102～103) 「あなたのやさしさにありがとう」(4年 p.86～87) 「言葉のプレゼント」(6年 p.96～97) ●「道徳の学習を進めるために」(2～6年 p.4～5) ●🌟「お母さんのせいきゅう書」(4年 p.106) ●🌟「タマゾン川」(6年 p.141)
<p>問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習等ができるよう工夫されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●各学年で問題解決的な学習を取り入れ、児童が主体的に考え、判断し、意欲的に行動できるように工夫しました。 <div style="border: 2px dashed orange; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>1年「みんな いっしょ」(p.22～23) 2年「大すきな フルーツポンチ」(p.19～21) 🌟「問題を見つけて考える」(3～6年) 3年「なかよしだから」(p.71～73) 4年「お母さんのせいきゅう書」(p.104～106) 5年「駅前広場はだれのもの」(p.26～29)「くずれ落ちたたんボール箱」(p.118～122) 6年「修学旅行の夜」(p.76～79)「タマゾン川」(p.136～141)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ●各学年で体験活動との関連を図った教材を配置し、学習効果を高められるように工夫しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ●1年「がっこうにはね」(p.12～13) ●2年「ひかり小学校のじまんはね」(p.16～18) ●3年「大通りのサクラなみ木」(p.144～147) ●4年「なにかお手つだいでできることはありますか？」(p.18～20) ●5年「わたしのボランティア体験」(p.96～99) ●6年「せんぱいの心を受けついで」(p.110～114)
<p>家庭や地域社会との共通理解を深め、相互の連携が図れるよう工夫されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●各学年で家族や地域活動に関する題材を取り上げ、家庭や地域社会の一員としての役割と責任の自覚を深められるように工夫しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ●家庭との連携 「ふろく つながる ひろがる」(1年 p.113～118/2年 p.133～138) ●地域との連携 「付録 つながる 広がる」(3年 p.155～160/4年 p.159～164/5年 p.171～176/6年 p.187～192)

<p>情報モラルに関して充実した指導ができるよう工夫されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●各学年に情報モラルを扱った教材を配置し、発達段階に応じて、段階的に指導ができるように工夫しました。 <div style="border: 1px dashed blue; padding: 5px;"> <p> 「情報モラル」(1～6年)</p> <p>1年 「いたずらがき」(p.106～108)</p> <p>2年 「いのちはいくつもあるのかな」(p.126～128)</p> <p>3年 「それは、だれの作ひん」(p.148～150)</p> <p>4年 「けいたい電話の落としあな」(p.152～154)</p> <p>5年 「これも、チェーンメール」(p.164～166)</p> <p>6年 「けいたい電話とのつきあい方」(p.180～182)</p> </div>	
<p>現代的な課題などを題材とし、児童が問題意識をもって多面的・多角的に考えたり、感動を覚えたりできるよう工夫されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●喫緊の課題である「いじめ問題」を全学年で重要項目として取り上げているほか、2つの教材を組み合わせることで、いじめ防止の効果を高められるように工夫しました。 ●安全・防災、食育、国際理解・平和などについて多様な教材で扱い、多面的・多角的に考えられるように工夫しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「いじめのない世界へ」(1～6年) <ul style="list-style-type: none"> 1年生の例 とびら「みんなはともだち」(p.42) 教材①「ダメ」(p.43～45) 教材②「こころはっば」(p.46～48) ●安全・防災 <ul style="list-style-type: none"> 「一本松は語った」(5年 p.151～155) ●食育 <ul style="list-style-type: none"> 「ゆきひょうのライナ」(2年 p.94～98) ●国際理解・平和 <ul style="list-style-type: none"> 「ひろいせかいのたくさんの人たち」(2年 p.34～37)
<p>児童の発達の段階に適切に配慮して学習ができるよう工夫されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●各学年で特に重要だと考えられる内容項目を「重要指導内容」とし、繰り返し指導することで、学習を深められるように工夫しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ●全学年での重要指導内容「親切、思いやり」(2年生の例) <ul style="list-style-type: none"> 教材①「くまくんのたからもの」(p.13～15) 教材②「かっぱわくわく」(p.66～70) 教材③「学びゅうえんのさつまいも」(p.99～101)

現代的諸課題への対応

検討の観点	内容の特色	具体例
<p>喫緊の課題である「いじめ問題」について対応した指導ができるよう工夫されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●喫緊の課題である「いじめ問題」について、全学年で重要項目として「いじめのない世界へ」の中で取り上げ、確実に学習できるように工夫しました。 ●「いじめのない世界へ」ではいじめを題材として扱った直接的教材と、いじめを直接扱わず、「いじめをしない、許さない心」を育てるための間接的教材の2つを、1つのユニットとして組み合わせることで、いじめ防止の効果を高められるように工夫しました。 ●「いじめのない世界へ」では、とびらページを設けることで、児童に「いじめ問題」について投げかけ、主体的に考えることを促すように工夫しました。 	<div style="border: 1px dashed red; padding: 5px;"> <p> 「いじめのない世界へ」(1～6年)</p> <p>1年 p.42～48 とびら→教材①「ダメ」→教材②「こころはっば」</p> <p>2年 p.62～70 とびら→教材①「おれたものさし」 →教材②「かっぱわくわく」</p> <p>3年 p.29～36 とびら→教材①「しょうたの手紙」 →教材②「いいち、にいっ、いいち、にいっ」</p> <p>4年 p.41～49 とびら→教材①「わたしの見つけた小さな幸せ」 →教材②「いっしょになって、わらっちゃだめだ」</p> <p>5年 p.37～44 とびら→教材①「転校生がやってきた」 →教材②「ノンステップバスでのできごと」</p> <p>6年 p.55～64 とびら→教材①「ばかじゃん！」 →教材②「ピアノの音が……」</p> </div>
<p>人権・福祉に関わる教育の観点から、どのような配慮がされているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●人権尊重についての認識を深める教材を充実させるとともに、人権・福祉に関わる社会の働きを取り上げ、人権を尊重する態度を養えるように工夫しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「みんながくらしやすい町づくり」(4年 p.148) ● 「ノンステップバスでのできごと」(5年 p.41～44)

安全・防災について扱えるよう工夫されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●各学年で、安全・防災について扱った教材を取り上げることで、発達段階に応じて安全・防災について考えが深められるように工夫しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「きをつけて」(1年 p.14~15) ●「いま、ぼくにできること」(2年 p.111~113) ●「おじいちゃん、おばあちゃん、見ていてね」(3年 p.132~135) ●「小さな連絡船『ひまわり』」(6年 p.166~169)
国際理解・平和に対応した指導ができるよう工夫されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●各学年で「国際理解、国際親善」を扱った教材を取り上げ、他国を理解し、平和を尊重する態度を養えるように工夫しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「ぼくとシャオミン」(1年 p.40~41) ●「同じ空の下で」(5年 p.142~145) ●「白旗の少女」(6年 p.44~49)
食育について扱うことができるよう工夫されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●食育について扱った教材を複数設け、道徳的観点から食についての考えが深まるように工夫しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ●『かむかむメニュー』(2年 p.50~51) ●「ぼくのおべんとう」(3年 p.98~101) ●「正月料理」(5年 p.114~116)
キャリア教育に対応した指導ができるよう工夫されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●さまざまな職業に就いている人々扱った教材を設け、自分の個性や生き方について考えが深まるように工夫しました。 ●6年生の「出会う・ふれ合う」では、どのような仕事をしたいか、どのような自分になりたいかなどについて、児童どうしが話し合う活動を設け、キャリアに関する意識を高められるように工夫しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「がっこうにはね」(1年 p.12~13) ●「いつかにじをかける」(4年 p.135~139) ●「桜守の話」(6年 p.170~173) ●「あこがれのパティシエ」(6年 p.13~17) ●🗣️「しょうらいの夢を語ろう」(6年 p.18~19)
情報モラル教育に対応した指導ができるよう工夫されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●各学年に情報モラルを扱った教材を配置し、発達段階に応じて、段階的に指導ができるように工夫しました。 ●携帯電話については、4年生から6年生までの3学年で異なる視点から扱い、学習が深められるように工夫しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ●📱 情報モラル (1~6年) 4年「けいたい電話の落としあな」(p.152~154) 5年「これも、チェーンメール」(p.164~166) 6年「けいたい電話とのつきあい方」(p.180~182)


教育課程編成への配慮

検討の観点	内容の特色	具体例
学習指導要領に示された内容項目について、十分に学習できるように、児童の発達段階に即して適切な話題や題材が取り上げられているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●児童の発達段階を踏まえて、教材を用意しました。特に、全学年を通して各学年で「重要指導内容」として設定している内容項目については、繰り返し学習することで、発達段階に応じて段階的に理解を深めることができるようにしました。 	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>重要指導内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ●全学年：節度、節制／親切、思いやり／規則の尊重 生命の尊さ／自然愛護 ●低学年：善悪の判断、自律、自由と責任／礼儀 ●中学年：善悪の判断、自律、自由と責任／友情、信頼 希望と勇気、努力と強い意志／勤労、公共の精神 ●高学年：希望と勇気、努力と強い意志／友情、信頼 勤労、公共の精神／よりよい学校生活、集団生活の 充実伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 国際理解、国際親善 </div>
幼児教育・中等教育との関連が適切に図られているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●1年生では、小学校入学前後の生活を紹介します。幼児教育との関連を図りました。 ●高学年では、中学生になるに当たって、自己の生き方について考えることを促す教材を取り上げました。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「ようこそ、一ねんせい」(1年 p.2,7) ●「いつも全力で」(5年 p.14~17) ●「夢」(6年 p.156~159)
各教科等との関連が適切に図られているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●各教科等での道徳性の育成につながる教材や学習活動を取り上げ、関連を図りました。 ●巻末の付録に各教科等と関連した内容を掲載し、効果的な道徳の指導ができるように工夫しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ●🌐 「つながる・広がる」 (3~6年) 3年 (p.51,66,140) / 4年 (p.40,62,148) 5年 (p.49,100,133) / 6年 (p.39,121,174) ●「付録 つながる 広がる」 3年 (p.155~160) / 4年 (p.159~164) 5年 (p.171~176) / 6年 (p.187~192)


構成・配列・分量

検討の観点	内容の特色	具体例
教科書全体を通じて道徳性を養えるよう、構成には十分配慮されているか。	●各学年の教科書を導入教材、本編教材、付録の3つで構成しました。導入教材を活用して道徳の授業にスムーズに接続するとともに、付録では、教材のねらいを深める資料を用意しました。	●導入教材「道徳の時間が始まるよ！」（2年～6年 p.6～9） ●付録「付録 つながる 広がる」（1年 p.113～118／2年 p.133～138／3年 p.155～160／4年 p.159～164／5年 p.171～176／6年 p.187～192）
教材は、学習指導要領の内容をもれなく扱い、目標を達成できるように構成・配列されているか。	●学習指導要領の内容をもれなく扱い、目標を達成できるように、教材を適切に構成・配列しました。	●内容解説資料②の「教材一覧」を参照。
教材の配列は、児童の発達に配慮するとともに、系統的に学習が展開できるように配慮されているか。	●児童の発達段階を踏まえた教材を用意しました。特に、全学年で「重要指導内容」として設定している内容項目については、繰り返し学習することで、発達段階に応じて系統的に理解を深めることができるようにしました。	●重要指導内容「思いやり、親切」の例 1年「ぼくのはなさいたけど」（p.86～89） 2年「かっぱわくわく」（p.66～70） 3年「やさしい人大さくせん」（p.10～12） 4年「ポロといっしょ」（p.140～143） 5年🎡「くずれ落ちただんボール箱」（p.118～122） 6年「車いすでの経験から」（p.40～43）
児童の生活実態や体験活動に合わせ、効果的に指導ができるように配列が工夫されているか。	●児童の生活実態や体験活動に合わせ、指導内容と指導時期を考慮して教材を配列することで、効果的な学習ができるように工夫しました。	●「じぶんで オッキー」（2年 p.10～12） ●「大通りのサクラなみ木」（3年 p.144～147） ●🎡「修学旅行の夜」（6年 p.76～79）
内容の程度、および分量は適切か。	●各学年の配当時間の授業を行うために、十分な数の教材を用意しました。	●内容解説資料②の「教材一覧」を参照。

指導上の配慮

検討の観点	内容の特色	具体例
学習意欲を喚起し、主体的な学習を促すための工夫がされているか。	●導入教材で、道徳の授業の流れや様子を分かりやすく示し、学習意欲と主体的な学習態度の育成のために工夫しています。 ●「問題を見つけて考える」や「いじめのない世界へ」のとびらページでは、教材を扱う前に児童に問題を提起し、主体的に考えられるように工夫しました。	●導入教材 「どうとくのじかんはね」（1年 p.6） 「道徳の時間が始まるよ」（2～6年 p.6～9） ●🎡「問題を見つけて考える」（4年 p.103, 5年 p.25） ●🎡「いじめのない世界へ」（2年 p.62, 3年 p.29）
	●学習案内役のキャラクター「こころん」とともに学習に取り組むことにより、児童の学習意欲が高まるように工夫しました。	●1年 もくじ ●2～6年 p.4～5  こころん
導入や振り返り、問題提起に必要な教材、学習の整理のための配慮などは、十分にされているか。	●導入教材を活用して、道徳の授業にスムーズに入れるように工夫しました。 ●各教材のタイトルとともに「学習のテーマ」を示し、児童自身が何を学習するかという見通しを持って学習に臨めるように工夫しました。 ●「学習の振り返り」を設け、児童が自ら成長を実感できるように工夫しました。	●導入教材「道徳の時間が始まるよ！」（2年～6年 p.6～9） 1年 p.8「じぶんでできること」 3年 p.33「友だちとしんらいし合う」 5年 p.114「伝統や文化を受けついで」 ●「学習の振り返り」（1年 p.109～111／2年 p.129～131／3年 p.151～153／4年 p.155～157／5年 p.167～169／6年 p.183～185）

表記・表現

検討の観点	内容の特色	具体例
本文等の書体、大きさは、児童の発達に配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●書体は、筆写文字に近く読みやすい独自に開発した少し太めの教科書体を使用しました。また、児童の発達段階に応じ、文字の大きさ、字体や行間を工夫しました。 ●小さい文字となる振り仮名には、ユニバーサルデザイン書体を採用し、読みやすさと見やすさに配慮しました。 	本書で使用している教科書体 通常の明朝体 
挿絵やレイアウトが工夫されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●児童が学習に対する興味や、問題解決の意欲を持てるよう、美しい挿絵や写真を掲載しました。 ●レイアウトを工夫し、余白を適度に確保したゆとりのある紙面構成にしました。 	<ul style="list-style-type: none"> ●1年 p.22~23 ●2年 p.116~119 ●3年 p.122~125 ●4年 p.126~129 ●5年 p.70~73 ●6年 p.80~83
表記・表現は、児童にとって親しみやすく、読みやすい配慮がされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●漢字は、国語科の配当学年に準じて、原則として当該学年の前までの配当漢字を使用しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ●漢字の学習状況にかかわらず、読み進めることができず。

造本・印刷

検討の観点	内容の特色	具体例
文字、絵図、写真などの印刷は鮮明で、製本は堅牢か。	<ul style="list-style-type: none"> ●印刷は鮮明で、目に優しい色を基調としました。また、製本は長期間の使用にも耐える丈夫なものにしました。 	<ul style="list-style-type: none"> ●印刷は鮮明で、読み物教材の場面を想像し、学習意欲を喚起できるようにしました。 ●表紙は強度の高いPP加工を施し、汚損しにくいように配慮しました。 ●製本は強力な接着剤を採用したあじろ綴じで、しっかりと紙面を開くことができ、堅牢です。
環境やアレルギーに対して配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●造本・印刷において、環境やアレルギーなどに配慮しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ●環境に優しい再生紙や化学物質を抑えた植物油インキを使用するなど、環境に配慮しました。
教科書の重量は、児童の身体的な負担に配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●軽量で丈夫な用紙を採用し、児童の身体的な負担を軽減するように配慮しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ●軽量で丈夫な用紙を採用し、ワイドなAB判でありながら、重量による身体的な負担を軽減するように配慮しました。
造本は児童の感性に訴えかけるよう工夫されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●資料性・視覚効果が高いワイドなAB判を採用し、児童の感性や学習意欲に訴えかけるように工夫しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ●教材への興味や関心を持って学習ができるよう、挿絵や写真を大きく掲載しました。 ●行間にゆとりを持たせ、文章を読みやすくしました。

特別支援教育・ユニバーサルデザインの観点からの配慮

検討の観点	内容の特色	具体例
特別支援の観点から、教科書の内容を指示しやすいよう工夫されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●本文には5行ごとに行番号を配置し、教科書の内容を指示しやすいように工夫しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ●文字の近くに行番号を配置し、行数を把握しやすくなるように工夫しました。
特別支援の観点から、教科書の内容を読み取りやすいよう工夫されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●1・2年生では、教材本文をまとまりごとに改行（文節改行）し、また、分かち書きを取り入れることで、読みやすくなるように工夫しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ●1・2年生では、教科書全体を通して読み間違いを防ぎ、文章の意味を捉えやすくなるように工夫しました。 ●3~6年生では、児童への問かけ文に文節改行を採用しました。
色覚特性への配慮から表現が工夫されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●色覚特性の専門家の協力を得て、全ページにわたって配色や色に関わる表現を点検し、全ての児童が支障なく学習できるように配慮しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ●イラストには必要以上に色を多用することを控え、全ての児童が支障なく学習できるように配慮しました。 ●マークなども、色分けだけの判別を避け、デザインによっても判別できるようにしました。